



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに『年間を通して定期的に試合ができる環境』を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。  
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主催】 (公益社団法人)岩手県サッカー協会
  - 【主管】 (公益社団法人)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
  - 【運営】 各地区キッズ担当者、指導者、JFA公認キッズリーダー、保護者の方々
  - 【対象】 少年団・クラブチーム・スクールに所属する小1～4の児童および準ずる児童で、傷害保険に加入していること
  - 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した『補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する』の考え方を基本に、少年団対抗ではなく、集まった子供たちをシャッフルして4～5人制の混成・即席チーム分けをして、そのチームでその日限りのリーグ戦（3試合程度）を戦い抜きます。
- ◆混成するので団員1人での参加も大丈夫
  - ◆試合には常にレギュラー選手としてフル出場
  - ◆4～5人制でボールに関わるチャンスが多い
  - ◆混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



**盛岡地区 第1回 (U-8)**

日時会場 : 2013年5月18日(土) 9:30～12:30 盛岡南公園球技場  
 参加団体 : 仙北・アントス・青山・月が丘・松園・MIRUMAE・上田・中央・グルージャ・手代森・玉山・オガサ・南公園スクール  
 IFA 月が丘スクール (略称・順不同)  
 参加人数 : 101名 (小1 40名、小2 61名)  
 運営本部 : 大久保和志(市協会キッズ委員長、アントス)、石山信三(市協会キッズ委員、山岸)、鎌澤和之(県協会)  
 クリニック : 斎藤康雄・田代 聡(オガサ)、近田和也・佐々木豪臣(グルージャ)  
 協 賛 : シライシパン (パン・和洋菓子の製造卸売業) 盛岡市黒川 23-70-1 <http://www.siraisi.co.jp>

**【開会式】 混成チーム分け**



**【1年生 クリニック】 ストレッチ、ボール・フィーリング**



**【1年生 クリニック】 コーチをかわしてシュート**



**【1年生 試合】**





【2年生 クリニック】 たくさんドリブル + じゃんけん交流



【2年生 クリニック】 身体が少し温まったところでストレッチ



【2年生 試合】



【参加賞シライシパンの配給】



【活動を終えて】 運営責任者コメント

今年度初めての「補欠ゼロリーグ盛岡 U-8」が 5 月 18 日晴天の中、南公園球技場で行われました。

当日は盛岡市内の小学校で運動会が開催されたこともあり、いつもより少ない人数でしたが、それでも 1 年生 40 名、2 年生 61 名、合計 101 名のたくさんの子供たちが参加してサッカーを楽しみました。

10 時に集合し、全員で挨拶してから各少年団等関係なく 4 名 1 グループを割り振り、斎藤氏 田代氏(オガサ)、佐々木氏 近田氏(グルージャ)達のクリニックを行い、ゲームへと進みました。

当日は南公園球技場からの注意点として、父母の方々にはハイヒール等で芝を壊さないため観客席での応援をお願いいたしました。また、子供たちには日射病予防と天然芝保護のため軒下での休憩としましたが、元気な子供たちですので中々軒下で休憩出来ずに芝生でボールを蹴っていましたので、各団の指導者やお手伝いいただいている父母の皆さまに注意をいただき、具合の悪い子供や芝を壊すことなくスムーズに進行出来ました。南公園球技場からも芝を「むしる」子供も無く、父母の皆さまもご協力いただき大変よかったですと言っていました。

ゲームも終わり、最後の体操を行い全員で挨拶した後、記念写真を撮影し、待ちに待ったお土産の配布となりました。お土産とは、地元のパン屋さん「白石パン」のご好意で無償提供していただいているパンです。子供たちはこのパンが大好きで、パン目当てに参加している子もいると聞いています。

今年度の「盛岡 U-8」は、夏 6 回(すべて南公園球技場)、冬 4 回(岩手県営体育館)の合計 10 回予定しております。

次世代を担う小学生等にサッカーを通して仲間をたくさん作ってもらい、元気よく楽しんでもらうことが出来るようにサポートして行きたいと思っております。

大久保 和志 (運営本部長、盛岡市サッカー協会 キッズ委員長)

(編集 : 県協会 鎌澤和之)